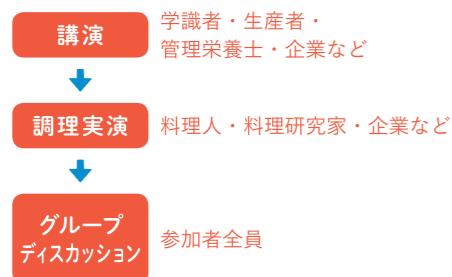


# 和食給食 ワークショップの進め方

本事業では、いくつかの訪問先で和食給食推進のためのワークショップを実施しました。ワークショップでは、「和食とは何か?」、「和食を児童生徒に伝えるには?」というお題まで、参加した栄養教諭・学校栄養職員・調理員の皆さんに話し合ってもらいました。その過程の中で、それぞれの立場でどういう取組が出来るかのアイデアを出し合い、具体的なアクションプランの設定まで行いました。所属する自治体等で和食給食についてみんなで考えたいと思った際には、ワークショップの方式を取り入れてみると良いかもしれません。本事業で実施したワークショップの概要をご紹介します。

## How

### ワークショップの流れ(例)



## 講師は実施地域と 繋がりのある人に

地域の風土への理解があり、地元産の食材や郷土料理にも知見のある講師を選定することで、地域の実情に合わせた講演を実施することができました。食文化の継承に向けた取組を継続していく上でも地域の関係者と協力していくことは有効です。

- 学識者
- 生産者
- 和食料理人
- 料理研究家
- 管理栄養士
- 企業

## テーマに合わせて適切な講師を選定

「伝える人」を増やすためには、和食の文化的背景、健康有益性といった基礎知識を学ぶことも重要と考え、テーマに合わせて専門的な知見を有する講師を選定しました。

## 体感できる内容を盛り込む

今回のワークショップでは、調理実演や試食、実習など、体感できる内容を積極的に盛り込みました。参加者のアンケート結果からも、体感することで理解が深まったようです。

## グループディスカッションを 取り入れる

講師による講演や実演を受けて、和食推進に向けて自分たちが何をすべきかを考え、意見を出し合ってもらいました。誰がいつまでに何を行うか、具体的なアクションプランに落とし込むことで、「自分ごと」としての自覚を促しました。

## ファシリテーターの役割も重要

グループディスカッションを行う上でファシリテーターが重要な役割を担います。食全般、和食文化、農業、学校給食等、各分野にある程度の専門知識を持ち、個々人の意見を引き出しながら参加者が共感する結論を導き出すといった資質が求められます。

初めてファシリテーションを行う場合は、まずは少人数から始め、事前にディスカッションの着地点を決めておき、それに向かって個々人の意見を尊重しながら柔軟に進行していきましょう。

## Who

### 年齢、所属エリアの違う 栄養教諭・学校栄養職員・調理員に

献立立案から給食調理、  
給食指導の中で活かせる

栄養教諭

学校栄養職員

調理技術を持った

調理員

実際に児童生徒との  
接点が多い

学校教職員

## What

### 職種に応じたテーマを設定

栄養教諭、学校栄養職員へのアンケートによると、和食給食を進める上での一番の課題は「献立のレパートリー」、「残食が多い」となっています。まずは和食の何を伝えるべきかを参加者で考えてみるのも良いかもしれません。その上で、「年中行事」や「季節感」、「調理や加工」、「健康」などにテーマを絞って、どう伝えるかのアイデアを出し合ってみると良い方法の検討が出来ると思います。その過程の中で「献立のレパートリー」、「残食が多い」に対する解決策が見えてきます。

#### テーマ例

- ・和食の特徴
- ・児童生徒に和食の良さを伝えるには?
- ・年中行事で取り入れるには?
- ・授業との連携
- ・学校行事との連携

## When

## Where

### 既存の研修を活用

本取組が各学校、各教育委員会の皆さんにとってひとつのモデルケースとなるよう、和食給食の推進に取り組む教育委員会担当者の方々と連携しながら、既存の研修の場を活用して行いました。具体的には夏や秋の研修の活用、栄養士会などの集まりなどで実施しました。

## グループディスカッションの実践例

対象：栄養教諭・学校栄養職員等

テーマ：児童生徒へ和食の良さを伝えるためには

### ●グループ分け

ディスカッションの活性化を図るため、1グループ4～5人とする。参加エリアが他地域に渡る場合は、普段接点のない方同士でグループを組むと様々な情報交換になり良い効果を発揮する

### ●アイデアの抽出 (15分)

各自、児童生徒へ和食の良さを伝えるためのアイデアを考え、付箋にアイデアを書き出す。付箋は1枚につき1アイデアを書く

### ●アイデアの共有 (15分)

グループ内でアイデアを共有し、模造紙に貼っていく

### ●アイデアの整理 (10分)

模造紙上にあるアイデアの書かれた付箋をグルーピングする

### ●アクションプランの立案 (10分)

グルーピングされたアイデアから良いものをピックアップし、誰がいつまでにどのように行動するかなど、具体的なアクションプランに落とし込む

### ●発表 (10分)

グループ内で発表者を選出しグループごとに発表する。発表後、全体を通しての質疑応答を取る。最後に講師の講評とファシリテーターの総括を行う